

届け続けたみんなの声

かねてより地域住民や、地元町会、日本共産党も要望していた地域コミュニティバスB-ぐるが、本郷・湯島地域に2021年から運行することになりました。

日本共産党の地域支部、区議会議員関川けさ子事務所共催で、区の基金622億円の一部を使い、本郷・湯島地域にB-ぐるの新規路線をとというピラを作成。地域の皆さんに区の取り組みの実情をお知らせしました。

「会」と共催で、2017年7月と2018年8月に、区民課長出席のもと2回の出前講座を実施。



2014年1月
区民の要望出される

B-ぐるの要望は、湯島地域の方から病院に通うのに、区内循環バスを通してほしいという要望が出されたことが、きっかけでした。

2015年2月
要望をピラに

「本郷・湯島地域にB-ぐるの実現を求める会」が作られ、その年の7月には、会による本郷・湯島地域の車での道路状況の調査が行われました。

2016年3月
会がたちあがる

区に500筆を超える署名を提出しました。



2017年7月
出前講座1回目を実施

2018年8月
出前講座2回目を実施
署名提出

6月議会での正式発表を受けて「会」と共に、署名191筆を添えて、バスのルート案について要望書を提出しました。



2019年6月
6月議会で正式発表

2019年7月
ルート案の要望書を提出

関川区議がルートの検討状況を質問し、区民の要望の反映を求めました。区長は、業者選定が終了し、ルート検討中であることを明らかにし、住民説明会で地域の意見を聞くことを表明しました。

2020年6月
6月議会で区民要望のルートを求める

関川さんの奮闘でB-ぐる運行実現へ



党地区都政対策委員長
福手ゆう子

関川さんの奮闘でB-ぐる運行が決定しました。私が前回の都議選で訴えた「大塚都バス車庫跡地の福祉活用」についても2023年に実現します。コロナ禍のもとで地域医療を守り拡充する運動をすすめます。とりわけ都立駒込病院の独法化ストップに全力を尽くします。

本郷・湯島地域へのB-ぐる運行確定 関川けさ子区議に大感謝

出前講座の開催や本会議での質問、署名の提出そして会としての運行コースの要請など、様々な場面でお力添えをいただいたことに感謝しています。関川さんのご尽力が無かったら実現しなかったと思っています。本当にありがとうございました。
「本郷・湯島地域にB-ぐるの実現を求める会」
代表 川端 寛子

本郷・湯島地域を2021年に走り出す

